

厚生労働省委託事業「キャリア・コンサルタントの資質確保体制整備事業」  
**教育機関におけるキャリア・コンサルティング  
 の普及等の状況に関する調査**

アンケートご協力をお願い

この調査は、厚生労働省委託事業の一環としてキャリア・コンサルティング協議会が実施するもので、大学等の高等教育機関で行われている学生のキャリア開発支援におけるキャリア・コンサルタントの導入・活用等の状況をお尋ねするものです。

厚生労働省及びキャリア・コンサルティング協議会では、この調査の結果を踏まえて、キャリア・コンサルティングの専門家であるキャリア・コンサルタントが、教育機関と学生の両方のニーズに応じた活動ができるようにすることと併せ、教育現場でのキャリア・コンサルティングの一層の普及を図ることを目的としています。

また、調査結果の概要を2006年12月に開催する「キャリア・コンサルタント全国大会」(同封のご案内をご覧ください。)で発表するとともに、2007年3月を目処に調査結果の詳細を報告書に取りまとめる予定としております(ホームページにて公開予定)。

つきましては、ご多忙の折、誠に恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解のうえ、是非ともご協力くださいますようお願い申し上げます。

2006年10月

【返送先・お問い合わせ先】

キャリア・コンサルティング協議会 事務局 担当：古今堂・岡村

〒110-0007 東京都台東区上野公園 18-7 TEL・FAX 03(5814)6881

E-mail office@career-cc.org URL http://www.career-cc.org/

ご記入にあたってのお願い・留意事項

1. アンケートの回答は、貴学において学生の就職支援やキャリア開発支援を担当されている部門(就職部、キャリアセンターまたはキャリア教育担当部門等)の教職員の方にお願いいたします。(ご回答者がキャリア・コンサルタント有資格者等である場合、キャリア・コンサルタント個人としてのお考えをお伺いするものではありませんのでご注意ください。)
2. 特に記載のない限り、回答内容は、2006年10月1日現在の状況についてお答えください。
3. 該当する項目の番号に をつけるか、または該当する数字等をご記入ください。
4. この調査は、特に記載のない限り、大学、短期大学、高等専門学校を単位としてお答えください。
5. 同封の返信用封筒(切手不要)で、2006年11月6日(月)までにご返送ください。
6. このアンケートに対するご回答について、文字が不明瞭である場合の確認等のため、担当からご連絡をすることがございます。また、ご希望によって、キャリア・コンサルタント全国大会の招待券(抽選200名様)を差し上げますので、下表にお名前等のご記入をお願いいたします。(ご回答いただきました内容は、全て統計的に処理され、貴学及びご回答者名が外部に出ることは決してございません。また、いただいた情報はこれらの目的以外には使用いたしません。)

校名		全国大会 招待券希望	(いずれかに) する・しない
所在地	〒		
所属・役職		お名前	
TEL		e-mail	

## <キャリア・コンサルティングとは>

「キャリア・コンサルティング」とは、「キャリア（職業人生、進路）」に関する相談をはじめとする支援活動のことであり、個人が、その適性や職業経験等に応じて自ら職業生活設計を行い、これに即した職業選択や能力開発を効果的に行うことができるよう、労働者や離転職者、学生、未就労者等に対して実施されるキャリア開発に関する相談、その他の支援のことをいいます。

具体的には、（１）自らの職業経験の棚卸し（振り返ること）や適性検査等を通じた自己理解、（２）労働市場や企業に関する情報提供等を通じた仕事理解、（３）職業体験等を通じた仕事に対する動機づけ等を行った上で、今後の職業生活や能力開発に関する目標設定を行い、職業選択や教育訓練の受講等キャリア開発のための主体的な行動に結びつけていくことについての相談等の支援を通じて、個人のキャリア開発を支援することをいいます。

なお、教育現場においては、一般的に「キャリア・カウンセリング」等と言われているようですが、この調査では「キャリア・コンサルティング」と総称しています。

## <キャリア・コンサルタントの役割>

近年のわが国では、高度経済成長と終身雇用制度の下で、企業主導型の従業員の能力開発やキャリア開発が主流でした。しかしこれからは、仕事を通じた人生を一人ひとりが自分で考え、決定していかなければならない時代になりました。キャリア・コンサルタントは、まさにこのような状況での支援者・伴走者としてその役割を担っています。

教育現場においても、学生の進路・就職相談をはじめとして、低学年からのキャリア意識の啓発施策の立案・実施や、採用面接等における自己表現訓練等の就職活動に向けた具体的支援の実施など、就職・キャリア開発の支援において専門的な立場から活動しています。

今後は、個別面談方式のキャリアに関する相談はもちろんのこと、キャリアに関する講演・セミナー、組織への提言活動、グループファシリテーション、メンタルヘルス（心の健康）への配慮等、キャリア・コンサルタントの必要性が認識されてきているところです。

## キャリア・コンサルタントとは

厚生労働省では、キャリア・コンサルタントの養成を支援するため、民間機関が実施するキャリア・コンサルタント能力評価試験をキャリア形成促進助成金（職業能力評価推進給付金）の支給対象として指定しています。職業能力評価推進給付金の支給対象として指定した試験は以下のとおりです（平成18年10月現在、計11試験）。

職業能力検定の名称	職業能力検定の実施者の名称
財団法人社会経済生産性本部認定キャリア・コンサルタント資格試験	財団法人社会経済生産性本部
キャリア・コンサルタント試験	社団法人日本産業カウンセラー協会
DBM マスター・キャリアカウンセラー認定試験	日本ドレーク・ビーム・モリン株式会社
CDA 資格認定試験	特定非営利活動法人日本キャリア開発協会
日本キャリア・マネージメント・カウンセラー協会認定キャリア・カウンセラー資格試験	特定非営利活動法人日本キャリア・マネージメント・カウンセラー協会
財団法人関西カウンセリングセンターキャリア・コンサルタント認定試験	財団法人関西カウンセリングセンター
GCDF-Japan 試験	特定非営利活動法人キャリアカウンセリング協会
HR 総研認定キャリア・コンサルタント能力評価試験	株式会社フルキャストHR総研
株式会社テクノファ認定キャリア・カウンセラー（キャリア・コンサルタント）能力評価試験	株式会社テクノファ
ICDS 委員会認定 ICDS キャリア・コンサルタント検定	特定非営利活動法人 ICDS
NPO 生涯学習キャリア・コンサルタント検定試験	特定非営利活動法人エヌピーオー生涯学習

この調査では、上記の能力評価試験の合格者と、社団法人日本経済団体連合会の講座修了認定試験の合格者、独立行政法人雇用・能力開発機構の講座修了者及び人材開発協会認定キャリア・カウンセラーをあわせて「キャリア・コンサルタント」と呼びます。

## キャリア・コンサルティング協議会とは

キャリア・コンサルティング協議会は、上記の厚生労働省指定試験実施機関が中心となり、キャリア・コンサルタントの資質確保活動とキャリア・コンサルティングの普及啓発活動を行うことを目的として、平成18年3月に設立された団体です。

詳しくは、キャリア・コンサルティング協議会のホームページ（<http://www.career-cc.org/>）をご覧ください。

## 貴学の概要についてお伺いします

問1 貴学の大学・短期大学・高等専門学校の別を教えてください。

1	大学	3	高等専門学校
2	短期大学		

問2 貴学の国公私立の別を教えてください。

1	国立	3	私立
2	公立	4	その他( )

問3 貴学の全学生数(2006年10月1日現在)を教えてください。

1	500人未満	4	3,000～4,999人
2	500～999人	5	5,000～9,999人
3	1,000～2,999人	6	10,000人以上

問4 貴学が設置している学科(大学・短期大学・高等専門学校)・専攻(大学院)を教えてください。  
(あてはまるものすべてに )

【大学・大学院】

1	人文科学	4	工学	7	商船	10	芸術
2	社会科学	5	農学	8	家政	11	その他 ( )
3	理学	6	保健	9	教育		

【短期大学】

1	人文	4	工業	7	家政	10	その他 ( )
2	社会	5	農業	8	教育		
3	教養	6	保健	9	芸術		

【高等専門学校】

1	工業	2	商船	3	電波	4	その他( )
---	----	---	----	---	----	---	--------

## 貴学におけるキャリア・コンサルタントの活用状況についてお伺いします

問5 貴学では、学生に対してキャリア・コンサルティング(2頁参照)を実施している方(学外の人材である場合も含む。)がいますか。

1	いる	問6へ進んでください。
2	いない	問11へ進んでください。

問6 問5で「いる」とお答えの方にお伺いします。貴学においてキャリア・コンサルティングを実施している方は何人いますか。また、その中には、資格を取得したキャリア・コンサルタント（2頁参照）がいますか。さらに、他の業務を兼務しながらキャリア・コンサルティングを実施する兼任者についてはいかがですか。それぞれについて、人数を下表に記入してください。なお、該当者がいない場合は「0」と、該当者がいるが人数が不明である場合は「不明」と記入してください。

	専任者	兼任者
学内 人材	人 ----- (内、キャリア・コンサルタント： 人)	人 ----- (内、キャリア・コンサルタント： 人)
学外 人材	人 ----- (内、キャリア・コンサルタント： 人)	人 ----- (内、キャリア・コンサルタント： 人)

キャリア・コンサルタントが「いる」場合は問7へ、「いない」場合は問11へ進んでください。

問7 問6でキャリア・コンサルタントが「いる」とお答えの方にお伺いします。貴学では、教員・職員のキャリア・コンサルタントの資格取得または講座受講に対し、どのような支援を行いましたか。(あてはまるものすべてに )

1	受講料・受験料等の補助(金銭的援助)
2	休暇の付与、就業時間の配慮(時間的援助)
3	学内での自主的な講演会・セミナー・研究会等の実施に対する援助
4	学外の研修コース、通信教育コース、図書等に関する情報提供
5	その他( )
6	特に支援をしていない

問8 問6でキャリア・コンサルタントが「いる」とお答えの方にお伺いします。貴学ではキャリア・コンサルタントであることを理由に担当させている業務がありますか。(あてはまるものすべてに )

1	キャリア開発に関する相談	5	キャリア開発に関するカリキュラムや教育制度の企画・運営
2	キャリア開発支援のための講義・セミナー等の実施	6	メンタルヘルスに関する相談
3	就職支援講座等の実施	7	その他( )
4	求人企業の開拓等、学外への働きかけ	8	特になし(資格取得等を理由としていない)

問9 問6でキャリア・コンサルタントが「いる」とお答えの方にお伺いします。キャリア・コンサルタントの能力について、貴学における業務への貢献度はいかがですか。次の1～5のうち最も近いと思われる数字を、回答欄に記入してください。

大いに貢献している…1 ある程度貢献している…2 あまり貢献していない…3  
全く貢献していない…4 わからない……………5

キャリア・コンサルタントの能力	回答欄
学生のキャリア開発に対する理解がある	
キャリア・コンサルタントの役割や義務に対する理解がある	

キャリア・コンサルタントの能力	回答欄
キャリア発達理論、職業選択理論等のキャリア開発に関する理論の知識がある	
カウンセリングに関する理論の知識がある	
キャリアシート、心理テスト等による自己理解に関する知識がある	
学内の業務（仕事）に関する知識がある	
企業等における雇用管理の仕組みや人事労務施策、労働条件に関する知識がある	
労働関係法規、社会保障制度等に関する知識がある	
メンタルヘルスに関する知識がある	
キャリア開発に関する相談を行うスキルがある	
キャリア開発研修等、学生に対する研修を企画、運営するスキルがある	
学内の関係部門等と連携・協力することができる	
外部専門機関や専門家と連携・協力することができる	
キャリア・コンサルタントとしての自己研鑽に努めることができる	
その他 ( )	

問10 問6でキャリア・コンサルタントが「いる」とお答えの方にお伺いします。貴学では、キャリア・コンサルタントの能力を高めるために実施・奨励していることがありますか。（あてはまるものすべてに ）

1	キャリア・コンサルタント資格以外の関連資格の取得
2	キャリア・コンサルティングに関連する学外の研修会・勉強会等への参加
3	キャリア・コンサルティングに関連する学内での研修会・勉強会等の実施
4	キャリア・コンサルティングの実施に関する指導者（スーパーバイザー）による助言・指導
5	キャリア・コンサルティングに関する事例検討会
6	学生に対するアンケート結果等のキャリア・コンサルタントへのフィードバック
7	学内の関係部門等とのネットワーク作り
8	学外の専門家等とのネットワーク作り
9	その他 ( )
10	特に何もしていない

問12へ進んでください。

問11 問5でキャリア・コンサルティングを実施している方が「いない」とお答えの方と、問6でキャリア・コンサルタントが「いない」とお答えの方にお伺いします。貴学では、今後、キャリア・コンサルタント（2頁参照）を育成・導入する予定がありますか。（あてはまるものすべてに ）

1	学内人材（教員、職員）の講座受講や資格取得により育成する予定
2	学外人材（キャリア・コンサルタント）を導入する予定
3	キャリア・コンサルタントの育成・導入について検討したい
4	キャリア・コンサルタントを育成・導入する予定はない
5	その他 ( )

問12へ進んでください。





問15 貴学において、キャリア・コンサルタント等の専門家の支援を受けるに当たって課題がある場合や支援を希望しない場合、その課題や理由はどのようなものですか。また、今後、キャリア・コンサルタントを導入するとしたらどのような方法が考えられますか。具体的にお書きください。

問16 本アンケートを通じてお気づきになった点や、キャリア・コンサルタント/キャリア・コンサルティングに関するご意見等がございましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。同封の返信用封筒（切手不要）でご返送ください。